

経営比較分析表（令和5年度決算）

長崎県長崎市 長崎市平和公園駐車場

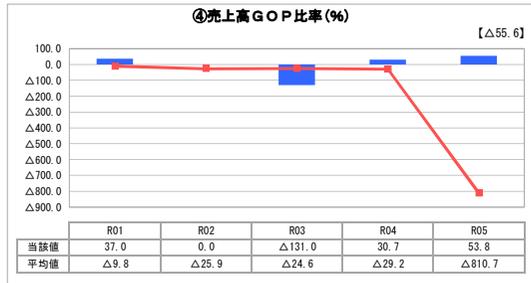
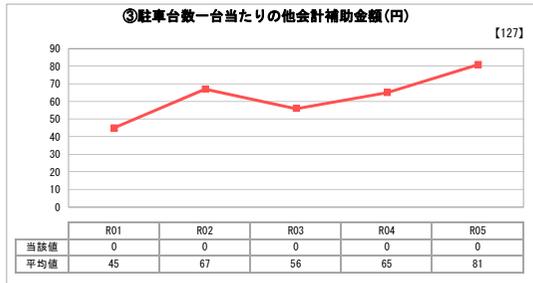
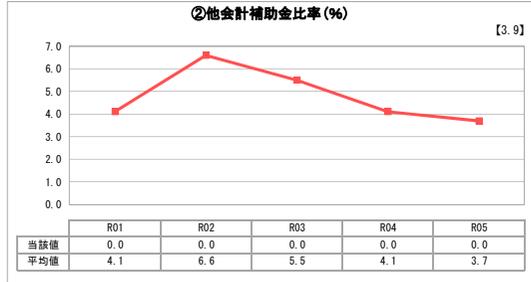
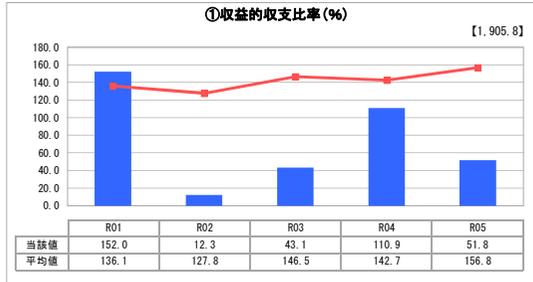
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場 屈出駐車場	地下式	30	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	有	7,384
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
110	1,500	利用料金制

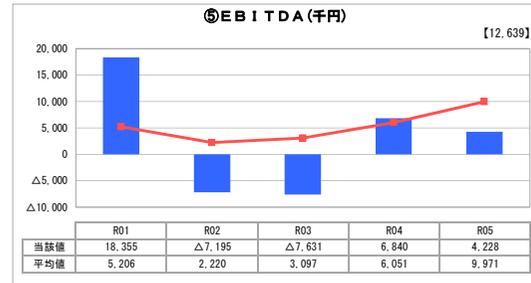
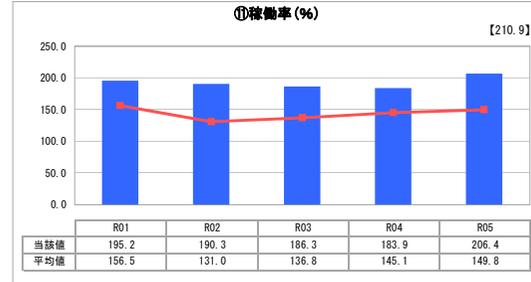
グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

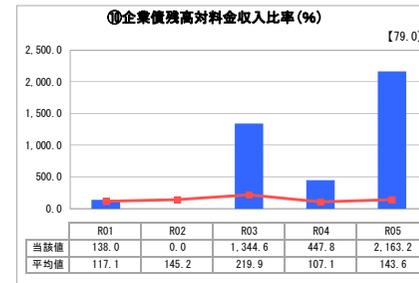
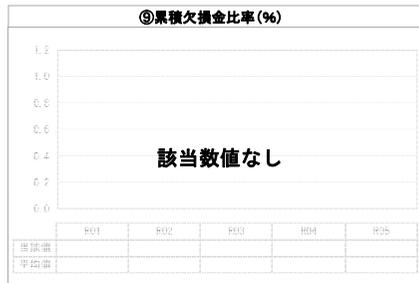


⑦敷地の地価(千円)

1,267,286

⑧設備投資見込額(千円)

81,378



分析欄

1. 収益等の状況について
 施設の改修にかかる地方債の償還が始まるなどとして収益が悪化することとなった。新型コロナウイルス感染症の影響から徐々に回復し、利用料収入は増加しているものの、施設の老朽化に伴う改修も予定しており、今後の収益の見込みについては、厳しい状況が続くことを想定している。施設の更新・投資に充てる財源についても、より慎重に確保していく必要がある。

2. 資産等の状況について
 企業債残高対料金収入比率が全国平均及び類似施設との比較して高い値となっているが、今後は新型コロナウイルス感染症の影響から回復し、安定した収益の確保が見込めることから、必要な施設の更新を行っていく。躯体等の改修については、平成27年度に調査をし、緊急性のある損傷はないとされており、長寿命化に向けた対応として、予防保全対策など改修を実施していく。

3. 利用の状況について
 新型コロナウイルス感染症の影響から回復傾向にあり、稼働率が類似施設平均と比べて高い数値となっている。平和公園の地下にあり、修学旅行のバス利用が多いことから、今後とも安定した利用状況になるものと想定している。

全体総括

施設の老朽化による施設改修の地方債償還額が増え、費用が増加しているものの、黒字であり他会計からの補助なく運営できている。新型コロナウイルス感染症の影響から徐々に回復しており、今後も健全な経営を続けていくために、指定管理者制度（令和2年度から利用料金制を導入）による利用者サービスの向上及び増収対策に努めるとともに、施設の更新・投資に充てる財源を計画的に確保していく。